



TAKEDA Smile

Web 配信 第14号
令和5年6月
武田中学校 高等学校
教育後援会・広報委員会

2023.5.14 体育祭 開催

今回は、体育祭の特集です。

応援団長のコメント

白団はリハーサルが最下位で、優勝が絶望的な状況でした。そんな中、先生方が競技のコツや改善点を伝えてくれて、また生徒が練習を必死にやっているのを見て、私は絶対にこのメンバーで優勝したいと強く思うようになりました。自分が出る種目はもちろん、出ない種目でもみんなと作戦を考えました。力で勝てないなら、技術で勝つ。これが白団の最大の武器でした。本番は練習したことが生かせて優勝を掴み取る事が出来ました。このメンバーで優勝することができて、ホントに心の底から幸せでした。一生心に残り続ける最高の体育祭になりました！！

白団団長 平岡奈和



練習をすればするほど気になることが増え少し厳しくなりましたがそれでも一生懸命に練習してくれたり、笑顔で話しかけてくれた応援団員みんなが大好きだし感謝しかありません。青団は総合優勝を逃してしまいましたが青団全員が笑顔で体育祭を終了することができて本当に心から嬉しかったです。応援団長としてプレッシャーを感じることは多かったですが、先生方や応援団員、友人の支えのおかげで最高の体育祭になりました！

青団団長 塩田祐妃



今年の赤団のスローガンは、竜躍鳳鳴でした。龍のように力強く、鳳凰のように美しい演舞を目指して練習を重ねてきました。互いへの信頼のおかげで本番では最高の演舞を披露できたと思います。支えてくださった家族、友達、先輩、先生方、そしてなにより団員みんなにトロフィーをプレゼントできてとても嬉しかったです。総合優勝は逃しましたが、体育祭で得た経験はそれ以上の価値があると思います。本当にありがとうございました。

赤団団長 下野優羽



～クラブ対抗リレー～



《中学校優勝：男子バスケット部》



《女子優勝：女子バレー部》



《男子優勝：野球部 3 年生》

体育系のクラブが火花を散らした後は、文化系のクラブが中心となって、グラウンドを一周しながらそれぞれのパフォーマンスを披露しました。

美術部は、「ちいかわ」など最近はやっているものを手作りでかぶりものにして登場。茶華道部はおもてなしと思いやりの心を大切に活動しているところ、「お茶会」のお知らせを行いました。吹奏楽部は、二人三脚しながらリコーダーを吹きつつリレー競走をするという離れ業を披露し、フラダンス同好会は、グラウンドを広く使ってあでやかにフラダンスを踊りました。さらには、競技かるたの練習を通じて文化としての百人一首の魅力を伝えた、かるた同好会。野球部は、楽しいパフォーマンスを披露しました。

そして、今年のパフォーマンス部門の優勝を勝ち取ったのは「書道部」でした。大きな和紙いっぱいに不死鳥フェニックスを描き、空を飛び通す「翔破」の2文字とともに「夢に向かって突き進め」と武田生みんなへの強いメッセージを表現しました。

工夫を凝らしたパフォーマンスに、魅了されたひとときでした。

広報委員 花之木憲一



クラブ紹介



活気あふれる体育祭



待ちに待った体育祭♪

雨天延期のもと、日曜日に無事開催されました。

グラウンドの状態があまりよくなかったので

プログラムが一部変更になる場面も。

マスクは任意での着用となり、

グラウンドでは大きな声が

ひびきわたりました。



観覧して下さった方に「武田生はノリが
いいので、どの行事も盛り上がり、
楽しいですね！」と声をかけて
いただきました。広報委員 岡田こずえ



初めての体育祭中へ質問

Q体育祭のどんなところが楽しかったですか？

中高一貫だからたくさんの競技を見ることができたこと
縦割り団なので今まで話したことない同級生や先輩友だちになることができたこと

Q高校生と一緒に体育祭はいかがでしたか？

中高一貫でしか味わえないからとても楽しかった
人数が増えるから始めは違和感があったけど練習していく中で楽しくなった

Q高校生の競技を見ていかがでしたか？

高校生にしかない熱気で迫力あったし、高3のフラッグは感動した

Q応援団の演舞はいかがでしたか？

かっこよくて揃っていて綺麗だった
迫力があって凄かった

Q高校生になったら応援団に入りたいですか？

入ってみたい

Q中高一緒にやってみたい競技はありますか？

借り物競走

Qその他感想はありますか？

1日体育祭は長いなと思っていたけどあっという間だった
団対抗リレーで緊張したけど走り出したら楽しかった



～中1生徒さんに武田での初めての体育祭の感想を取材しました～

とっても楽しかった、迫力があったというのが伝わってきて、通常開催の体育祭ができることになったことを嬉しく思いました。いきいきとした生徒達の表情は輝いていて、これからの後輩たちに受け継いでいってくれるはずです。
広報委員として生徒たちの近くで写真を撮らせていただき感謝いたします。

広報委員 大村裕美

～武田生として最後の体育祭～

武田中学校の入学式から気が付けば 6 年が経ち、とうとう武田生として最後の体育祭を鑑賞することとなりました。

西日本豪雨災害・コロナ禍という社会的に想像を超えることが多く続き、体育祭・武田祭・合唱祭など一般公開行事は中止、もしくは校内だけの行事と変更になりましたが、武田生として最後の学年である今年はアフターコロナではありますが、こうしてひとつずつ行事が復活していく予感がしています。

まずは武田中高二大イベントの一つ！体育祭！！

当日は、教育後援会が行っているアイス・飲み物の準備にクラブ紹介の着付けの手伝いさせてもらい、演目では楽しみにしていた団対抗応援合戦、高校3年生のフラッグ。競技・演技が進んでいくにつれ、「これで武田生として最後なんだ…」と実感が湧いてきて、最後のフラッグの演技ではしっかり演技している生徒たちの姿にこれまでの思い出とともに一人感動をしていました。

「高 3 のプライド」の綱引きでは休んでいる青団が負けていた赤団の応援をしたり、それぞれ団の応援を声が枯れそうで体力の続く限り全力で応援している姿が体育祭を盛り上げて、自分たちも楽しんでいるのだろうと感じました。

当日は前日の雨で蒸し暑くもあり、競技中にケガをする生徒もいましたが、ここぞ！という場面では魅せてくれていました。

応援合戦を終えて各団の団長が春休みからの練習の成果の集大成だったのか、三人がお互いを気遣いながら無事に終わったことを喜びあっていた姿をみると、努力や成果が報われた瞬間だったのだろうな、と感じました。

大学受験に向けて悩むこと、苦しい気持ちになっていくことも増えてくる時期になっていくのだろうけど、一つ一つの事に全力を注ぎ、積み重ねて壁を乗り越えていくことのできる高校 3 年生だと確信した日でした。

広報委員 河上祥子



～野球部に感謝♡～

13 日の予定だった体育祭は、雨の為順延となりました。

しかし、14 日の朝まで降り続いた雨は上がり、肌寒い中で体育祭が無事に開催されました。

その肌寒さから、ホットコーヒーの売れ行きが良く、嬉しい悲鳴を上げながら活動させていただいておりました。

我が子の出番もなかなか見届けられないような中で、一際大きな声援が、常に耳に届いておりました。

野球部の声援です！！□

別に私たちを応援してもらっていたわけではありませんが、その野球部の盛り上げに、自分もとても励まされ『よし』頑張ろう！！』と思えました。

可愛いキツネダンスも、大笑いしながらもとても癒されました。

野球部の体育祭での活躍は、本当にみんなの励みになっていたに違いありません。

私たちが全ての片付けを終えて帰路につく午後 6 時過ぎ。

野球部の姿はグラウンドにありました。

私はとうに疲弊状態なのに、彼等は疲れを見せる事なくグラウンドを一生懸命に整備していました。

体育祭で崩れたグラウンドは、整備しなければ練習にもならない事はわかっている、それも体力作りの一環だとわかっている、その彼等の姿に、私は強く胸を打たれました。

野球部のみんなに感動し、そして心から感謝しました。



体育祭を誰よりも盛り上げてくれてありがとう。

心強い声援をみんなに送り続けてくれてありがとう。

心からの感動を本当にありがとうございました♡

教育後援会副会長 岡本妙子

編 集
後 記

フレーム越しの武田生の一生懸命な姿・笑顔。写真を見返しながら、とてもあたたかい気持ちになりました。思い切り活動できるイベントの復活。次は武田祭ですね。今年度も、たくさんの委員さんのご協力のもと、よい新聞を届けてまいります。ご期待下さい♪

広報委員長 花之木 貴子